

公共政策コースの教育目標

— 公共政策的視点から問題解決策を提示できる人材の養成 —

社会科学のうち、法律学、政治学、経済学、および経営学の基礎能力を習得し、社会が抱える様々な問題に対して公共政策的視点から問題解決策を提示することによって、「まちづくり・地域づくり」に貢献できる人材を養成しています。

公共政策コースのカリキュラム

— 専門教育の重視・充実 —



卒業研究テーマ例

法律・政治分野

「行政指導の概念と法的統制」、「医療同意に関する成年後見人の権限」、「第三者割当増資に対する法規制のあり方について」、「紛争解決学の可能性と実用性について」、「再生可能エネルギーの可能性と問題点」

経済・経営分野

「日本の年金制度の諸問題についての考察」、「法人税減税における議論について」、「マルシェ、市が地域に与える影響」、「業種別・株価と企業業績の相互関係について」、「ゲーム理論における実験経済学アプローチの経済分析」、「高齢者雇用と若年者雇用について」、「制度と経済成果の関わりについて - ダグラス・C・ノース『制度・制度変化・経済成果』の検討を中心に -」